

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	令和3年度 第1回 砥部町行財政改革推進委員会
2 開催日時	令和4年 3月
3 開催場所	書面開催
4 審議等事項	・ 第1次集中改革プラン(2020-2022)について ・ 砥部町行財政改革大綱(2020-2029)について
5 出席者名	【委員】 松永公一、柳田栄理子、一ノ宮修、壽野春幸、上田文雄、 村上成喜、前田眞
6 公開又は 非公開の別	書面開催
7 非公開の理由	—
8 傍聴人数	—
9 所 管 課	企画政策課 企画政策係 電話 089-962-7250

令和3年度 第1回 砥部町行財政改革推進委員会 意見書

内 容

・第1次集中改革プランについて

【項目番号1 オープンデータの推進】

・オープンデータの推進は、Society5.0の実現に向けて重要なテーマであり、早期の実現を求めたい。

【項目番号2 広報、広聴の充実】

・YouTubeを視聴する人が急激に増加しているので、魅力的な動画配信は今後地域の発展に大きく影響をすることと思う。今後も積極的に取り組む必要がある。

【項目番号3 デリバリーとべ（出張出前講座）の開催】

・デリバリーとべは、住民参加のまちづくりを盛り上げていくために必要な事業である。新型コロナウイルスに負けないやり方を生み出しながら進めていただきたい。

【項目番号4 環境の保全活動推進】

・持続可能な社会づくりの形成に向け、ごみ処理や分別に関する情報発信はますます重要になる。住民の高齢化に伴い、個々の対応が必要になることも多くなるため、地域ぐるみでの取り組みに向け啓発活動を意図的に行っていくことが大切である。

・ごみ収集車による回収に加え、地域の拠点となる場所にごみステーションを設置し、住民自らがいつでも持参できるシステムも構築するとよい。

・ごみ減量化及び住民のリサイクル意識の向上を図れた。今後も、この活動推進は続ける必要がある。

【項目番号5 枠配分方式予算の導入とセグメント情報の充実】

・枠配分方式は、生活の場の事情に合わせた取り組みだと思う。事業内容の把握や査定の必要性もわかるが、それらを克服したより良い取り組みになるよう目指してほしい。

【項目番号7 特定健診受診率の向上】

・全国的にもコロナ禍で健診受診者が減少し、今後への影響が懸念されている。受診率を高めるためにも啓発活動の推進と共に、会場に出向くことが困難な住民への支援体制も明確にする必要がある。

・新型コロナウイルスの感染拡大が続く中なので、受診率が落ちている。今後もこの状況はしばらく続くと思われるので、感染対策の徹底や受診方法などできる限り行い、受診率向上を図っていかなければならない。

【項目番号8 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化】

・フレイル該当者は、保健・栄養指導を実施しなければ、生活機能の低下が進み重症化していくので、保健・栄養指導は今後も継続していく必要がある。

【項目番号 10 アウトソーシングの検討】

- ・業務改善は、今後もますます A I や R P A が進化すると思われるので、進めていく必要がある。アウトソーシングは、実現可能なものをしっかり調査して検討する必要がある。
- ・アウトソーシングによる質の低下を起こさないような取組みになることを期待する。

【項目番号 11 庁内プロジェクトチームの立ち上げ】

- ・広報紙への S D G s に関する記載は、最終頁にあり非常に見やすく（広報紙を手取る人にとっては）啓発に効果大きい。難しい面はあるが、一般論に加え、砥部町での具体的な取組みを発信することで相乗効果が期待できる。
- ・ S D G s の達成に向けできること、必要なこと、急ぐことから進めていく必要がある。結成されたプロジェクトチームに期待をする。
- ・ S D G s を住民へ周知することに関し、行政と地域住民で作る（作成事例の募集を行う）ネット配信に向けた取組みが必要でないかと思う。

【項目番号 13 政策立案など職員勉強会】

- ・コロナ禍の影響はある程度あるが、「遅れ気味」の評価では、意識の低さが懸念される。対象となる職員が何名在職するか不明だが、12名の構成員が妥当かどうかとも検証する必要がある。古い組織を変えるためにも、全員参加できる体制づくりを望む。
- ・【項目番号 11】に繋がる職員の勉強会になっていると思われるので、積極的に政策立案をして実施する必要がある。
- ・政策立案は、地域に根差した取り組みをする上では重要だと思う。学び終えてからではなく、実践しながら学んでいくような取り組みを期待する。

【項目番号 16 ふるさと納税の推進】

- ・奪い合いになっている「ふるさと納税」が、計画以上に進んでいること、取組みの構想や P R 活動の有効性が示された。今後も情報収集に努め、魅力発信により財源確保を進めてほしい。クラウドファンディングも状況に応じ活用したい。
- ・寄附額が大幅に増加している。返礼品の内容が大きく影響していると思われるので、今後も愛媛県（砥部町）の人気の高い特産品を増やし、地域の発展につなげてほしい。

【項目番号 18 使用料・手数料、入館料等と減免の見直し】

- ・料金値上げは致し方ない部分もあると思うが、減免幅については、縮小ではなくて拡大の方向の方が住民の皆さんの多様な状況により寄り添えるようになるのではないかと思う。

【総評】

- ・第 1 次の集中改革プランの推進期間とコロナ禍が見事に重なり、取組みを進めることができなかった分野もあった中、工夫して改革に向け取り組んでいること、今後の活動に期待が大きい。今後も非常変災や有事の危険性が明確になった今、必要な領域を見極め、新たな取組みへの変革も必要になってくる。

- ・令和3年度末を迎えた中、2年度で未着手だったものに対する3年度中の進捗状況が全く見えないことには、書面審議であるが意味のなさを感じる。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で未着手の項目が出てしまったことが残念である。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えない状況で、行財政改革は進められていると思う。今後も、この状況は続くと思われる。感染対策を徹底して、できなかったことは進めていかなければならない。大きな課題があると思うが、前向きに積極的に計画的に取り組んでいく必要があると思う。
- ・全体的には、計画通りが半数以上を超えており、集中改革プランの実践については、うまくいっていると思う。ただ、個別のテーマで進んでいない項目（1, 3, 5, 13）の中には、これからの地域社会を支えていくものに関する部分もあり、より一層の努力を期待したい。また、これらの項目（10, 18）は、クリアーしないといけない問題があるとは思いますが、住民の皆様にとって暮らしやすい環境づくりという視点で取り組んでいただきたい。
- ・コロナが拡大した中での経過であり、実施できない分野もあるが、砥部町の未来に向けた取り組みに期待する。
- ・未着手が気になる。魅力ある砥部町づくりに努力してほしい。

- ・砥部町行財政改革大綱(2020-2029)について
意見なし。